

社会福祉法人ふじみ野市社会福祉協議会

支部活動推進計画

— 滝支部 —

モデル支部指定年度：平成26年度～平成29年度

子どもから高齢者まで みんなでつながり
支え合い 笑顔であいさつできるまち



モデル支部推進事業

ふじみ野市地域福祉活動計画（平成25年度～29年度）
重点項目1 「モデル支部の設置による支部活動推進計画の策定」

もくじ

滝支部の状況	-----	1
計画策定経過、今後の予定	-----	1
地域の状況（地区懇談会より）	-----	2
支部マップ	-----	4
地域の主な困りごと	-----	6
地域の主な困りごとを解決するうえでのポイント	-----	6
基本方針	-----	7
支部活動推進計画	-----	7

モデル支部推進事業

ふじみ野市社会福祉協議会では、町会・自治会・町内会を単位に、現在54か所の社協支部を設置し、見守り活動やふれあい・いきいきサロン、世代間交流事業、新入学児童お祝い事業、社協会員募集や共同募金運動等、様々な小地域福祉活動に取り組んでいます。

しかし、高齢化率が高い地域や子育て世代の多い地域、世帯数や人口、マンションや新興住宅地等の住宅の形態、区画整理地や商業地、市街化調整区域など、地域によって生活環境が異なることから、その地域（支部）が抱える福祉課題も異なっています。

この事業は、これらの課題に対応するため、四つのモデル支部を指定し、「支部活動推進計画」を策定することで、その地域性に対応したよりきめ細かい小地域福祉活動を強化・推進するとともに、モデル支部ごとに取り組まれた活動や成果を評価・検証し、市内全域において支部活動の活性化を図ることを目的としています。

〔モデル支部〕

滝支部、埴支部、緑ヶ丘支部、みほの支部

〔指定期間〕

平成26年4月16日～平成30年3月31日

滝支部の状況（平成25年度）

- 1 支部長 森田定夫
- 2 福祉委員12人（民生委員・児童委員4人含む）
ほかボランティア3人（福岡高校卒業生）
- 3 地域の状況（平成26年5月1日現在）
世帯数 1,500世帯
人口 3,679人
年少人口率 15.09%
高齢化率 19.03%



- 4 支部の主な活動
 - 見守り活動（見守りチーム41、福寿草配布部数60部、毎月の福祉委員会において見守り対象者についての情報交換が行われている）
 - ふれあい・いきいきサロン（年6回、延べ235人の参加がある。文京学院大学の学生や福岡高校卒業生ボランティアとも連携しながら開催している。）
 - 新入学児童お祝い事業の開催
 - 社協会員増強運動、日赤社員増強運動、赤い羽根共同募金運動、歳末たすけあい運動の実施
 - 滝自治会及び子供会行事への協力
 - 文京学院大学学生ボランティア及び福岡高校卒業生、ふじみ野高校生徒ボランティアとの交流 など

計画策定経過、今後の予定

年月日	内容
平成26年 4月16日	モデル支部指定
6月11日	4か所のモデル支部による支部長会議
7月29日	第1回地区懇談会
11月30日	滝支部福祉委員会議
平成27年 2月 3日	第2回地区懇談会
3月16日	計画の策定
平成27・28年度	計画の実施
平成29年度	計画の評価・検証

地域の状況（地区懇談会より）

これらは、地区懇談会で住民から寄せられた「地域の状況」を分類したものです。ここから地域の課題とその解決策を整理し、支部活動推進計画にまとめました。

大区分	中区分	小区分（参加者からの
高齢化の進行に伴う心配や不安	地域の困りごとが把握できない	何か月も顔を合わせない人が多い
		一人暮らしの人や引きこもりの若者がいるのではないかな
		どこまで入り込んで良いかが難しい
	夫婦二人、一人暮らし高齢者との日常的な付き合いの希薄さや心配ごと	近所付き合いが希薄
		地域のコミュニケーションが欠けている
		一人暮らし高齢者の熱中症（連絡先が分からない）
		一人暮らし高齢者が入院していたが分からなかった（情報が入らない）
		認知症の一人暮らしを支える方法は？
	身の回りのことを頼れる人手や交通手段等の心配	高齢者の病院への通いの交通手段（買い物、外出が不便）
		交通の便が悪いため高齢者が困る（外に出にくい）
		地域が広すぎる
	寄りあえる場、たまり場の不足	集会所などの気軽に立ち寄れる場所がない
子どもに対する心配	子どもの姿が見えないので心配	外で遊んでいる子どもの姿が見えない
関係機関相互の情報の共有や連携が不十分	関係機関等との情報の共有や連携が十分でない	障害のある母を抱えて息子が介護している（父は体調が悪い）家族だけの介護
		社会資源同士の横の繋がりが薄い
地域活動への担い手不足	自治会へ参画する人が減少	高齢になると自治会を脱退する人が多い
		自治会の加入率が低い
その他	治安が心配	空き家の管理が心配

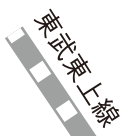
地区懇談会とは？

地域での福祉に関する困りごとやその解決策などを話し合うために行ったもので、町会・自治会の役員、民生委員・児童委員、子供会、いきいきクラブ、福祉施設など、多くの住民に参加していただきました。

全ての意見)

隣近所の顔や様子が見えない	困っている世帯の把握ができない	地域の子どもの姿や様子が見えない
居住者カードの回収率が低いから状況が把握できない	家族構成が分からない	民生委員が入り難い
見守りとプライバシーの両立？	高齢者の家と子どもがいる家の違い	
高齢者世帯が多く近所付き合いがない	高齢者の閉じこもり	近所のお付き合いがあまりなくてコミュニケーションがとれない
隣同士でも満足にあいさつができないのは寂しい	人と触れ合うことが苦手な人への声かけが必要ではないか	高齢者と子どもの交流の機会が少ない
高齢者の二人暮らし	老々介護が増えている	介護認定を受けていない夫婦のどちらかが入院した場合、一人では日常生活が送れない
認知症であろうと思われる方が増えている	息子に面倒をみてもらうことが不安	一人暮らしの人の生活全般
介護予防（体操など）、健康づくりが必要ではないか	農家が続けられなくなっている	認知症や徘徊老人のことは地域の人がかかっている
一人暮らしの人の買い物	ATM、コンビニがない（住むには良いが不便）	足の悪い人にとって交通の便がわるい
上福岡は坂が多い	巡回バスの本数が少なくて不便	住宅地だから商店が入れない
畑には街灯が付けられない		
気軽におしゃべりできる場所がない	行ける人はいいが行けない人のための場所づくり	気軽に参加できるサークルが不足している
学童に入らない子どもが心配		
障害者への支えがない（市の調査があってもフォローなし）	介護サービスの申し込みや利用方法等を知らない	
関係団体同士の連携がとれない		
高齢化のために自治会役員のなり手がなく脱退する人が増えた	近所の付き合いがなくなり自治会に入らない	自治会への参加が少ない
マンション、アパートの住人の加入率が低い	自治会費を納めてもメリットがない	
治安（公園のベンチ燃やされた）		

(平成27年3月1日現在)



地域の主な困りごと

地区懇談会の声から、地域の主な困りごととその解決のためのポイントを整理しました。

住民の高齢化が進み、心配ごとや不安が広がっている

- 高齢化やプライバシーなどによって地域の困りごとが見えなくなりつつある
- 夫婦二人暮らし、一人暮らし高齢者の増加などから近所付き合いが希薄になっている
- 気軽に立ち寄れっておしゃべりできるような機会や場が少ない
- 買い物や通院などのちょっとした身の回りのことを頼れる人手がない



子どもや子育て世代への支援や関わりが求められている

- 子供会の活動や運営を支援する人材が必要とされている
- 子ども同士の交流や異世代間の交流が少ない
- 子どもたちの姿や様子が見えにくくなっている

地域の活動を担う人材が不足している

- 新たに地域の活動にかかわる人が増えない
- 高齢化に伴って地域の活動を担えない人が増えている

「地区懇談会で
の意見」より

地域の主な困りごとを解決するうえでのポイント

高齢者と子どもたちが出会い交流する機会をどう作るか

拡充する必要がある福祉活動の担い手をどう確保するか

基本方針

子どもから高齢者まで みんなでつながり
支え合い 笑顔であいさつできるまち

支部活動推進計画

◎重点事業



できることからやってみよう！



「世代を超えた交流活動の充実、強化と子育て世代の支援」

子どもから高齢者までが出会い、互いにふれあい、楽しめる機会を拡充するとともに、子育て世代を支援します。



〔具体的な取組み〕

世代を超えた交流活動の充実、強化と子育て世代の支援

平成27年度	平成28年度
・ 子供会との共催による世代間の交流を図るサロンや事業の開催（例：伝承遊び、七夕祭り、芋掘りと焼き芋大会、ハロウィンパーティー、クリスマス会など） ・ 子育てサロンの検討	・ 回数を増やす ・ メニューの充実 ・ 子育てサロンの実施

◎全モデル支部での共通重点事業

「地域福祉活動の基盤強化」

地域の福祉課題解決のための活動基盤を強化するため、新たな担い手の確保、福祉情報の発信などの取り組みを行います。



1 活動者の登録の仕組みづくり

平成27年度	平成28年度
活動者バンク（仮称）の実施に向けた準備	活動者バンク（仮称）の実施、運営

2 地域福祉活動者への参加意向の把握

平成27年度	平成28年度
アンケート調査の実施（新たな協力者への要請）	—

3 福祉情報などの発信

平成27年度	平成28年度
支部だよりの発行（年間2回発行／例：サロン情報や活動者バンク、高齢者向情報、住民が登場するなどの記事の掲載等）	支部だよりの発行（年間4回発行）

4 あいさつ運動

平成27年度	平成28年度
- PR（腕章作成、情報誌への掲載など） - 実施団体（学校など）との連携、協力 - 学校の登下校時の積極的な声かけ	活動内容の充実



5 財源の捻出

平成27年度	平成28年度
- 新規会員の募集 - 募金活動の継続実施	同左

◎既存事業の充実

活動者バンク（仮称）の取組みなどを通じて把握できるニーズや人材の状況などを踏まえて、既存の諸事業の充実強化を図ります。



1 見守り活動（チーム数41、福寿草配付部数60）

平成27年度	平成28年度
継続実施	同左

2 ふれあい・いきいきサロン（年間約6回開催）

平成27年度	平成28年度
・ 内容の充実（例：楽器演奏、転倒予防体操、囲碁、将棋、手芸、料理、他、趣味や特技を活かしたメニューの実施など） ・ サロンの開催方法及び会場の検討 ・ 地域の拠点・施設等を利用したサロンの検討（例：在宅介護者のおしゃべりサロン他）	・ 同左 ・ 地域の拠点、施設等を利用したサロンの実施

3 新入学児童お祝い事業（子供会との共催）

平成27年度	平成28年度
イベントの継続実施	同左

4 車椅子貸出事業

平成27年度	平成28年度
・ 継続実施 ・ 支部だよりによる広報	同左

5 社協会員募集、募金活動等（自治会の協力により実施）

平成27年度	平成28年度
・ 新規会員募集の実施 ・ 募金活動の継続実施	同左

発行日 平成 2 7 年 3 月

発行 社会福祉法人ふじみ野市社会福祉協議会

〔本部・上福岡支所〕

〒356-0011

埼玉県ふじみ野市福岡 1-1-1

ふじみ野市役所第 3 庁舎

TEL 049-264-7212（代表）

FAX 049-264-9440

✉ info@fujimino-shakyo.or.jp

〔大井支所〕

〒356-0058

埼玉県ふじみ野市大井中央 2-2-1

大井総合福祉センター4 階

TEL 049-266-1981（代表）

FAX 049-266-1907

✉ ohishisho@fujimino-shakyo.or.jp